令和７年４月１日

「第２期都城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の延伸について（案）

令和２年４月に策定した「第２期都城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、令和２年度から令和６年度までの５年間を計画期間としており、本年度末で期間が終了しますが、以下のことから計画期間を１年延伸します。

１　概要

本市は、将来のまちづくりの指針として、平成 30 年度から令和９年度までの 10 年間の計画期間とする「第２次都城市総合計画」を策定したところであり、人口減少の抑制を目標に、その課題解決に向けて様々な取組を進めてきました。

さらに、本市は、人口減少に歯止めをかけるべく、国と一体となった取組を進めるため、令和２年度から令和６年度までの５年間の計画期間とする「第２期都城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、総合計画と一体的に施策等を推進してきたところです。

しかしながら、本市においては、充実した移住支援や子育て支援などの取組により、令和６年度に 13 年ぶりに人口増加に転じており、計画を策定した当時とは、本市を取り巻く状況が大きく変化しております。

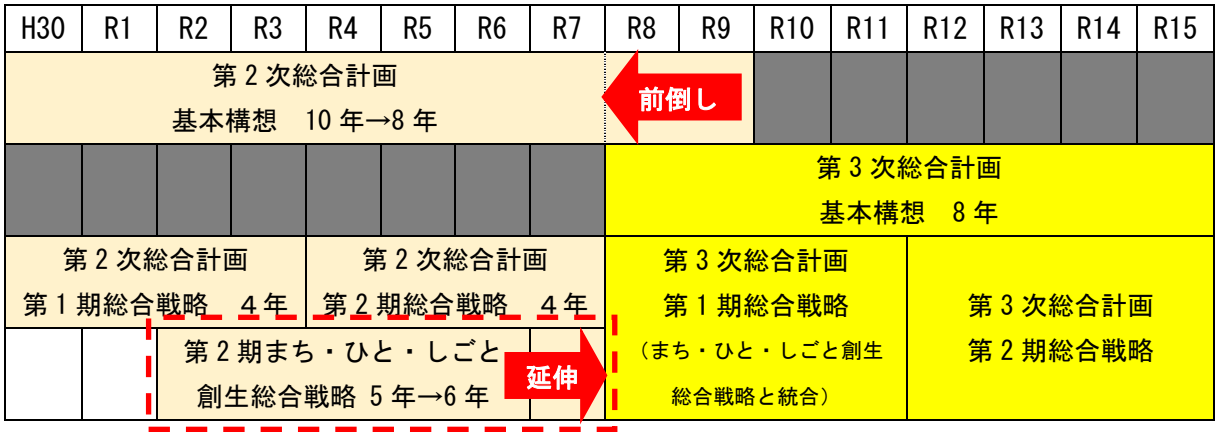
こうした状況を踏まえ、今後、社会経済情勢の変化に伴う新たな課題に対応するため、「第２次都城市総合計画」の計画期間満了前に、令和８年度からの「第３次都城市総合計画」を策定することといたしました。

また、「第２期都城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、「第２次都城市総合計画」の「基本構想」や「総合戦略」との整合を図り策定しており、総合計画が、まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策や重要業績評価指標（KPI）などの多くを兼ね備えております。

このことから、「第２期都城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を１年延伸し、「第３次都城市総合計画」と次期「都城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を統合して策定することとします。

【対象期間】　延伸前　令和２年度から令和６年度まで
　　延伸後　令和２年度から令和７年度まで

【各計画の期間の考え方】



２　重要業績評価指標（KPI）の設定

現在の第２期都城市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、令和６年度末までの重要業績評価指標（KPI）を設定しています。計画期間を１年延伸するとともに、令和７年度末までの目標値を新たに設定しました。

３　令和７年度目標値の考え方

・「第２次都城市総合計画第２期総合戦略」の計画期間の終期が令和７年度であるため、「第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の重要業績評価指標（KPI）の項目が「第２期総合戦略」と同じものについては、原則、「第２期総合戦略」の令和７年度目標値と同一の目標値に設定。

ただし、過去の実績との乖離が大きい場合は、実績に基づき目標値を設定。

・「第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略」単独で、重要業績評価指標（KPI）を設定している場合は、過去の実績に基づき目標値を設定。

※ただし、以下の２項目はKPIを変更

No.66（旧）包括連携協定の締結団体数　⇒　（新）連携事業数

No.67（旧）マイナンバーカード交付率　⇒　（新）保有枚数率

以上